

レイクアリーナ箱根電亮

箱根・仙石原の大平原を一直線に続く道。草原に包まれながら緩やかな坂道を上る。全国津々浦々のコースを巡っても、こんな区間は初めて・・・

レイクアリーナ箱根コース
神奈川 No.777 JOA公認 No.777
10km 10ポスト

今回は出来たてホヤホヤの最新コースをご紹介します。JOA公認No.777というおめでたいナンバーを獲得したのは神奈川県箱根町に新設された「レイクアリーナ箱根」コース。2001年6月1日オープンし、オリエンティアの来訪を待ち受けています。

パーマネントコースとしては大先輩の「箱根・湖尻高原」コースの中にスタート地点の「レイクアリーナ箱根」は立地しています。小田原駅または箱根湯本駅から箱根登山バスに乗り、「南温泉荘」で下車すると3分ほどのところ。湖尻高原コースは箱根ロープウェイの姥子駅と桃源台駅の間を林をこちんまりと回るのに対し、新設コースは標高1,044.5mの台ヶ岳の周囲に広がる仙石原、大湧谷といった箱根ならではの景勝地を巡る雄大なコースとなっています。

マップはレイクアリーナ箱根の事務所で扱っています。コースは既に印刷済み。この3月まで調査されていたものです。

当日は大阪からの埼玉への帰省がてら、午前中に静岡県「玉露の里AB」コースを回り、その足で御殿場インターより現地に向かいました。そのため、スタートしたのが16時36分。日没を

気にしながら歩き始めました。

スタート地点から石畳の上り坂を僅かに進み、最初の分岐点から疎林に伸びる遊歩道に入ります。金太郎岩の道標に従って小道を選ぶと間もなく湖尻高原コースのポストに出会います。金太郎岩を回り込み、坂を上り終わると視界が開けます。「金太郎岩展望台」と名付けられたその一角に第1ポストが設置されています。支柱の茶色い風変わりなポストです。

北に抜けると扇状に広がる別荘地に出ます。一直線に下るルートを選び、交通量の多い県道へ。蛇行する道を北に向かうとやや奥まったところに第2ポストがあります。

第3ポストへも別荘地を進みます。街中を歩いていても高原の雰囲気味わえるのが別荘地のいいところ。区画整理された柵目状の帯ですが、特に道の本数など数える必要も無いほど、第3ポストは十字路の脇に堂々と立っています。

第4ポストへは風景が一変。東に転じると、先ほどの県道に戻ります。ここを抜けると目の前には仙石原の大平原が広がります。その中を一直線に続く道がOLのルート。全国津々浦々のコースを巡っても、こんな区間は初めて。草原に包まれながら緩やかな坂道を上り詰めます。それが終わるとこのコース唯一の難所に差し掛かります。倒木が行く手を阻む小径を避け、側溝の直ぐ脇のコンクリートの上を選んで進みます。時折、下草がそのコンクリートを覆ってしまうことがあり、慎重に歩を進めないと転落の恐れもありますので要注意。小道が整備されれば何の問題も無いところなのですが...。苦労して脱出すると、目の前

に第4ポストが待っています。

ここからしばらく台ヶ岳の麓をのんびり続く広い未舗装道路を辿ります。第5ポストはそんな道端、第6ポストはこの道路の終点の分岐に設置されています。通常、全く使用されていない道路の様で、一人としてすれ違う人はありません。

後半のハイライト、大湧谷へ向け、道標に従って遊歩道に分け入ります。これまで緩やかな帯を巡ってきたため、ここでの上り坂はやや堪えるでしょう。長く感じる坂道を進むと、西へ延びるルートとの分岐に第7ポストがあります。

更に上り詰めるとロープウェイの大湧谷駅の裏に出ます。観光客の目にはまず触れそうに無い小道の道端に第8ポストがあります。

駅の正面に出ると、目の前に大湧谷の大パノラマが広がります。硫黄の噴煙が立ち昇る山肌をしばらく鑑賞して、第9ポストへ。姥子方面へ通じる立派な遊歩道を下ります。登中までは硫黄の匂いが立ち込め、直ぐ横で噴煙が立ち昇る光景にも出会います。実に歩き易い歩道を軽快に進んで行くと、分岐に第9ポストがあります。

更に下り、ロープウェイ姥子駅近くの駐車場の片隅に最終ポストがあります。第1ポストへ向かう際に歩いた石畳の歩道を下ると、レイクアリーナ箱根へと帰り着きます。

所要2時間11分。日没には十分間に合いました。パーマネントコースが軒並み野放しとなっている現状の中で新たに誕生したコース。是非、多くのオリエンティアに利用されて行って欲しいものです。